

2023年度 シラバス原簿					タイトル	講義内容と事前事後学習内容	
科目名 英語名	総合科学特論「現代社会を知る」 General Science ~Concerning Modern Society~				1週	ガイダンス 事前 2.5hr シラバスの内容を読んでおく。自分が千葉工業大学に入学し学ぶと思った動機を振り返り、まとめておく。 授業、講師、成績判定の方法等を説明する。後半は、創立時の社会的背景を含めて千葉工大の創立の意義・目的を解説し、現代における千葉工大の役割と、そこで学ぶ意味を考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。	
	科目 担当者	小宮 一仁				2週	現代社会を知る、そして将来への提言 事前 2.5hr 第4次産業革命について調べて、まとめておく。 第4次産業革命が進行する現在、世界の中で日本が置かれている現状を教授し、コロナ後の時代に向けて必要なのは何かについて考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
開講学期		時間数	単位	科目の区分	曜日時間	履修制限	3週
4・6学期	2	2	選択	木曜日5・6限	特になし	4週	現代における自由とは何か 事前 2.5hr J.S.ミルの「自由論」について調べ、まとめておく。 現代社会において、「自由」はあらゆる場面で問われている。人権や表現の自由。人間の課題である「自由」の問題。このことを現代に向けて提案したのは、19世紀のイギリスの思想家J.S.ミルの「自由論」であった。ミルの「自由論」を解説して自由とは何かを考える。【講義担当:土屋恵一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
目的	[目的] 学生の知識・教養を高め、果敢にして実行力のある意志を培い、豊かそして堅実な人格を陶冶するために、現代社会の仕組みを総合的に教授することを目的とする。 [授業概要] 120分を、①授業の紹介、②途中休憩を挟んで約100分の講義、③約15分の討議。①と③の進行は、毎回小宮学事顧問が行う。②の講義は、学事顧問と特別教授が担当する。				課題解決型	<input checked="" type="checkbox"/>	
					グループワーク	<input type="checkbox"/>	
注意事項・ 学習アドバイス	※原則対面で授業を行います。新型コロナウイルスの感染状況によってそれ以外の形式の授業になる場合は事前に連絡します。 ※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。				ディスカッション	<input checked="" type="checkbox"/>	
					ディベート	<input type="checkbox"/>	
到達目標	・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。 ・工学分野が現代社会と強い関係性にあることを理解し、その一例を説明することができる。				プレゼン	<input type="checkbox"/>	
					実験・実習・演習	<input type="checkbox"/>	
評価基準	期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト(0回) 0% 提出物(7回) 100% プレゼン(0回) 0%				フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	
	各講義担当者(7名の予定)が、講義内容に係るそれぞれ100満点の理解度確認のための課題を出題する。複数の回で講義を行う講義担当者場合は、出題される課題は1回とは限らないが、各講義担当者の課題の合計得点は100点である。したがって、総得点(満点)は700点となる。課題の指示に従ってレポート等を提出し、全提出物の得点の合計点を7で除した得点が60点以上を合格とする。						
関連科目	なし				5週		第4次産業革命期の日本の雇用のあり方を考える 事前 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。 事後 2.5hr 第四次産業革命について調べて、まとめておく。
					6週		リーダーシップ論(1) 事前 2.5hr リーダーシップの概念について調べ、まとめておく。 リーダーシップの意義を理解する。①事例を通じリーダーシップに重要と思われる事項を講義する。②リーダーシップの意義、自らの資質を伸ばす為に必要な事項を講義する。学生がリーダーシップの意義についての概要を理解することを目的とする。【講義担当:岩村公史特別教授(元陸特)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
参考文献・ 参考資料等	必要な場合は別途案内します。				7週		リーダーシップ論(2) 事前 2.5hr リーダーシップの体系、考慮事項について理解させるとともにリーダーシップを発揮する要領について講義する。①リーダーシップの体系と考慮事項について講義する。②組織的リーダーシップの手順、リーダーシップの一例を紹介する。学生がリーダーシップを発揮する要領についての基礎を理解することを目的とする。【講義担当:岩村公史特別教授(元陸特)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					8週		日本の予算制度、財政の現状と課題 事前 2.5hr 日本の財政制度について調べて、まとめておく。 政府部門の経済活動は国民経済の中で大きな存在になっている。財政学の基本的な理論や仕組みを習得して知識を深め、日本の財政制度や現状に関心を持つことは、これから社会人になっていく上で必要なことである。1週目は、政府の役割、予算制度、歳入歳出の規模と内容、財政赤字と公債発行、財政再建について考察していく。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					9週		税、社会保障の仕組み、現状と課題 事前 2.5hr 日本の社会保障制度の構造について調べて、まとめておく。 日本の財政制度や現状を考察する2週目は、歳入の大宗を占める租税について、その基礎理論に加えて基幹的な税目である所得税、法人税、消費税を概観していく。歳出については社会保障費、とりわけ医療、年金、介護に焦点を当ててその制度と運用の両面から展望する。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					10週		J.S.ミルの「自由論」～宗教と性の自由について～ 事前 2.5hr 前回の授業の内容を参考に、J.S.ミルの「自由論」について更に調べ、まとめておく。 J.S.ミルの「自由論」のもっともスキャンダラスな部分は当時の新興宗教であったモルモン教を、自由の問題として擁護したことである。このことに注目して、現代における宗教の自由とは何か。そしてその背景にあった同性愛の自由について考えよう。【講義担当:土屋恵一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					11週		国際関係論の基礎を学ぶ 事前 2.5hr 日中関係、日韓関係について調べ、まとめておく。 今日の日本が政治的、経済的、文化的にいかに国際社会と密接に結びついているかについて理解を深める。また、そもそも国家や国民とは何か、これらを規律する国際法の基本原則は何かを理解し、我々が国際法のルールの下に生きていることを理解する。また、日中関係および日韓関係の現状と課題について国際法の視点から考察する。【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐節特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					12週		国際の平和と安全の維持 事前 2.5hr ウクライナ問題で見えた国際法の限界について調べ、まとめておく。 国連、国際司法裁判所など国際社会の平和と正義の維持の装置の内容とそれらの機能の限界を知り、「今」の不安定な国際社会をどう日本が生き延びていけるのかを考える。同時に現在進行中のロシアのウクライナ侵襲など現実起こっていることと重ね合わせて、「平和」の問題を検討する【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐節特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンディマンド配信) 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。
					13週		東アジア情勢と日本の政治の行方 事前 2.5hr マスメディアの役割について調べて、まとめておく。 日々刻々と変化する政治情勢やそれを伝える報道の基本的な仕組みについて特に日本を含む東アジアの情勢について講義する。また、世界の中で日本が置かれている状況や、日本の政治に求められる役割についても触れる。【講義担当:石橋文登特別教授(元産経新聞編集局長・政治部長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】 事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。